

町内の各中学校では、去る二月四日の「少年の日」に、各中学校で、少年式を行いました。
当町では四百三十七人の少年少女たちが、祝福されました。
そこで、こころ、少年式を迎えられた少年少女たちに、感想や今後のビジョンなどをうかがってみました。

責任を

少年式を終えて少年式から何か感じたことは？
久保 ぼくたちは責任が重くなつたようで、何か不安もあるようです。

清水 実感は、わいてきません。十四才になったなと感じます。久保 少年の日を境に、毎日毎日を着実に過して、少年式に酬いゆきたいと思っています。

そして、社会の人々から祝つてもらい認められたからには、責任を果して、社会の人々から尊敬されるような人間になりたいと思います。
きよう、自宅で祝つていただく方はありませんか。
宮本 小さいことですが、赤飯をたいて祝つてくれます。

美しい思い出が残るように……
いまいだいてる夢はありませぬか。
徳山 だれかに聞いたのですが「夢には、つくる人と、それを実現する人がある」と聞いたのですが、私は、夢を実現するほうはできないかも知れませんが、大きな夢をつくらせてゆきたいと思っています。

石岡 物語で、ガンジのの本を読みましたが、インドの独立に力をつくしたガンジは、世の中のために、ひとつの仕事、力いっぱいつくしたので、偉いと思います。
岡崎 私も松田さんの意見には賛成ですが、一番大切なことは努力だと思ひます。大きな夢をもつて、それに少しでも近づけるように努力を重ねることが大切だと思います。

夢にはつくる人と 実現する人がある

岡崎 ヘレンケラーの物語を読んで、努力が大切だなと感じました。
徳山 小さいことでもよいからみんなの代表となる者になつて尊敬されるような人間になりたいと思つています。
福村 社会的に認められるような年令になったので、立派な人になるよう努力してゆきたいと思ひます。

清水 ものごとを一生続けてゆくことができるような人になりたいと思ひます。
宮本 来年は、高校入試がせまるわけで、志望校を決めたいので父に話をしたら、父は「商専の方へ行け」というので、自分としては「法学を学びたい」といつて議論したのですが、父は、私の思つた通り「希望校に行かしてやる」といひました。

松田 社会の人々のためになることをどんな小さなことでもいいからやつてゆきたいと思ひます。

自立つ自覚 少年式を迎えた 少年少女

少年式の日の 気持を文章に

きようを機会に、いろいろな考えを文章にでも書いて残しておく、と、一生の記念になり、おとなになつて、子供ができて、その子供が十四才になったとき、両親の十四才のときは、こういう気持だつたということになると大変、おもしろいと思ひますがどうですか？
岡崎 私も、少年の日の三つの目標を、さつそくつぎのことを文章に書いておこうと思ひます。
「まず、立志は、目標をたてるだけではないので、それに向つて努力をして行かなくてはならない。」
健康は、何ごととも体が資本だから、健康に一番気を付けて、病気になるないように気をつけなくてはならない。
自覚は、自分自身、自覚していなかつたら、向うみずで、無茶をするようになるので、私は、このように考えています。

告知板

臨時運行の許可を行います

公営事業課では、三月一日から自動車臨時運行の許可の事務を取り扱いますから、ご利用ください。

香典返しを寄付

大字豊茂、宇都宮吉幸氏は、先般なくなられた、母ミササ氏の香典返しのかわりに、一万円を、「長浜町福祉協議会事業資金に充当してほしい」と、町社会福祉協議会に寄付されました。

小学校入学前の準備

このころは、大半の子供が、幼稚園課程を経てきていますので新入学といつても、以前ほど心配はありませんが、最低つぎのようなことだけは、身につけておきましょう。

ママさん交通安全指導員誕生

白滝地区に、ママさんの交通安全指導員が生まれました。
白滝地区交通安全となりぐみでは、先般、西滝寺で、ママさんの交通安全指導員の任命式を行いました。

新入学児童の衣服計画

新入学児童の衣服の計画は、着たり、ぬいだりしやすいこと、また、ズボンはおしっこがしやすいように、くふうしてやることも大切です。

明るい町 (4)

決してありません。
では、どういふ人でしょうか。
みかけは、ごく普通の人であつても、文字も書けば、本も読む。他人との話も、単なる井戸端会議

でなく筋のおつた話ができる。子供たちにしても、人に迷惑をかけるまいと育てることができ、選挙に際しても、棄権せず、違反しない人だそうであるから、考えてみれば、それほどむずかしい条件があるわけではないようです。

「新しい知識人」になるための一つの条件があります。
それは何か、といひますと、疑問が出たとき、その疑問に答えいつしよに考えてくれる人をつかむことだそうす。

④ハンカチ、ちり紙の使い方と管理ができること。
⑤自分で、洋服の脱着ができて用便がたせること。
などの社会生活での基礎を教へておけば十分です。

字を教へこんだりすると、かえつて、小学校の授業にさしつかえます。

この程、新しく、指導員になられた方は、つぎの八人です。
(敬称略)
上田明子、児玉良、別宮清子、児玉文子、清水カズ、清水二花、福村三子、玉井三幸

このママさんは、制服制帽をまとい、毎月二十日の交通安全運動の日や、春と、秋の交通安全運動期間内に、街頭指導を行い、交通安全を呼びかけることになりました。このママさんの活躍が、期待されます。

▼香典返しを寄付
大字豊茂、宇都宮吉幸氏は、先般なくなられた、母ミササ氏の香典返しのかわりに、一万円を、「長浜町福祉協議会事業資金に充当してほしい」と、町社会福祉協議会に寄付されました。

▼小学校入学前の準備
このころは、大半の子供が、幼稚園課程を経てきていますので新入学といつても、以前ほど心配はありませんが、最低つぎのようなことだけは、身につけておきましょう。

①あいさつができること。
②自分の名前が読める、かける読めること。
③ハイ、イエエの意志表示ができること。

▼ママさん交通安全指導員誕生
白滝地区に、ママさんの交通安全指導員が生まれました。
白滝地区交通安全となりぐみでは、先般、西滝寺で、ママさんの交通安全指導員の任命式を行いました。

この程、新しく、指導員になられた方は、つぎの八人です。
(敬称略)
上田明子、児玉良、別宮清子、児玉文子、清水カズ、清水二花、福村三子、玉井三幸

このママさんは、制服制帽をまとい、毎月二十日の交通安全運動の日や、春と、秋の交通安全運動期間内に、街頭指導を行い、交通安全を呼びかけることになりました。このママさんの活躍が、期待されます。

▼香典返しを寄付
大字豊茂、宇都宮吉幸氏は、先般なくなられた、母ミササ氏の香典返しのかわりに、一万円を、「長浜町福祉協議会事業資金に充当してほしい」と、町社会福祉協議会に寄付されました。

▼小学校入学前の準備
このころは、大半の子供が、幼稚園課程を経てきていますので新入学といつても、以前ほど心配はありませんが、最低つぎのようなことだけは、身につけておきましょう。

①あいさつができること。
②自分の名前が読める、かける読めること。
③ハイ、イエエの意志表示ができること。

▼ママさん交通安全指導員誕生
白滝地区に、ママさんの交通安全指導員が生まれました。
白滝地区交通安全となりぐみでは、先般、西滝寺で、ママさんの交通安全指導員の任命式を行いました。

このママさんは、制服制帽をまとい、毎月二十日の交通安全運動の日や、春と、秋の交通安全運動期間内に、街頭指導を行い、交通安全を呼びかけることになりました。このママさんの活躍が、期待されます。

春が来た

戸外に
出て
陽を
あび
よう

た

春が来た

戸外に
出て
陽を
あび
よう

た

春が来た

戸外に
出て
陽を
あび
よう

た

春が来た

戸外に
出て
陽を
あび
よう

た

春が来た

戸外に
出て
陽を
あび
よう

た

春が来た

戸外に
出て
陽を
あび
よう

た

春が来た

編集室

「風のよいお天気の日は、よい子の時間のレコード音楽が手に取るように聞こえ、あの時間がくると、野ら仕事を終えて帰途につきますが、あの『夕やけ小やけ』の歌は、何かしら、ピツタリとして、感じがいいですね」といふ便りを喜多雄の主婦の方から、いただきました。
アナウンサー一同、張り切つています。

ある七十才になる老人がつぎのようにつづりました。
『長浜町は、くもの巣のように道路が張りめぐらされた本』とこの人のことばの表現は、じょうずではあませんが、「当町における道路網の発達ぶりに驚いて発したことば」です。

それを裏書きするように、山の頂上にも、デラックスな自家用車が走り始めました。

野らの行き帰りに、若いふたりで、ドライブ気分を満喫できるという正に、この世のパラダイスの出現です。

晴天の日には、日だまりを求めて、三々五々集まつて、話に花を咲かせている女生徒たちをみかけるのもこの頃です。

さて、彼女たちは、どんな話をしているのでしょうか？
町内各地区に、こもをかむつた、みかんの幼木が目立ちます。当町の、みかんの新植はめざましく、みかん王国になる日も間近です。

三月に入ると、木の芽や、花がふくらみ始めます。
いわゆる「木芽どき」です。
この時期の健康には、十分注意いたしましょう。規則正しい生活とほどよい運動、それに、十分な栄養をとつて、この時期ののりこえましょう。

幼児の手をつかり、母親の方から握つてやること。スカートなどにつかまらせて、歩いている母親がいますが、事故のもとになります。

たけも、すぐ短くなること、元氣な子供ほど、いたみ方ははげしいこと、洗たくがきくことなどを頭に入れて、生地をえらんでください。

多少高くても、じょうぶな生地で、たけをたつぷり長く着せるのも一方法です。

また、安い化繊で、いたんだらつぎつぎと新しく作つてやるのも一方法。

それそれ、家計を考え合わせて計画を立てましょう。

▼学用品の準備
学用品は消耗品ですから、初めからあまり高価なものは、買はないことです。

鉛筆は、HBよりも、むしろBか、二Hのやわらかいものを選びましょう。

教科書の買ひ方は、学校で指示してくれませんが、新しい本にカバーなどは、つけないこと。子供は表紙の絵によつて、本を区別します。

▼交通安全事故から
子供を守りましょう
来月から新入学児童の通学が始まります。

かわいらしい一年生が、交通安全事故でけがをしたり、命を失つたりするのは、何といつても防がねばなりません。

つきに、母親が、子供を守る要点をかかげてみました。
①実際に道路に出て、手をあげていつしよに横断歩道を渡つてみて、曲りかどでは左右をよくみて曲ることを教へましょう。実地教育が最上の方法です。
②小学生の場合、忘れものをとり帰る途中の事故が多いことは子供が忘れものに心をうばわれていることから起ります。
子供を、学校や、遠足に出す場合は、念を入れて、忘れものがないように点検してやりましょう。
③子供の事故は、土曜日に多いものです。土曜日の午後は、赤信号と心得るべきです。
④自分の子供だけでなく、よその子供も、危いと思つたら、すぐひとこと注意をしてやりましょう。
⑤学校の行き帰りは、上級生をまじえたグループ行動をとるようにならしましょう。
⑥幼児をつれて歩くときは、必ず、子供は、家並み側を歩かせ